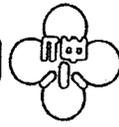


仲町だより



なかよく
まなぼう
ちからいっぱい
練馬区立仲町小学校

厳寒を乗り切る

校長 澤井 英子

1月14日に降った雪の影響で、校庭が使えない日が続いた1月です。教職員総出で、除雪や塩化カルシウムの散布を何度も行いましたが、なかなか校庭が使えず、持久走大会も延期に延期を重ね、やっと25日に実施できました。

この間、室内遊びを考えるよい機会と、各学級で取り組み、廊下を走り回る児童はほとんどいなく、落ち着いて過ごせたことは、「仲町スタンダード」の定着が図れてきたことの証と感じています。

また、4年生の子供が、積雪後すぐから除雪の手伝いを申し出てくれて、体育館前等、早い時期から使えるようになったことも嬉しいことでした。

【社会科見学から】

12月末から6年生・4年生・3年生が見学を終え、今月5年生が社会科見学に出かけます。

引率していて感じることは、どの学年も、非常に熱心に学習していることです。集合・整理が速やかになり、説明をしていただくときの「聞く態度」は立派。私語に走る子供がひとりもいません。「聞き方名人」になってきたのだと感じます。また、グループ毎に自由に体験する時間の歩き方も、走り回ることなく静かに落ち着いて行動できる子供が増えてきました。

学校生活が落ち着いてくると、校外でも同じようにできることがわかります。これからも、社会性を一つ一つ身に付けられるように指導していきます。

【時間割・時程について】

今月は、会議や行事の関係で、曜日をかえて授業を行う日や下校時刻が異なる日があります。詳しくは、各学年の便りでご確認下さい。

【文化芸術体験特別授業】

文化庁の派遣事業で、鳥野美知子さん（日本児童文学者協会会員）に、3年生・4年生がお話作りを教えていただきました。

まず、鳥野さんの本を各学級で担任が読み聞かせ、その後書き方についてご指導頂き、一人一人が作品づくりをし、読み合っています。

子供たちは、担任による読み聞かせから、お話の世界に入り込み、興味深く聞き、お話作りでは、原稿用紙10枚もの作品を書き上げた子供までいるほど、誰もが夢中で作品づくりに取り組みました。

鳥野さんは、全作品を読み、コメントを書いてくださり、どの子も恥ずかしさと誇らしさを合わせたような、とてもよい表情で学習していることが印象的でした。

本物にふれる体験が、これからの生活にも生きるよう考えていきます。

【小・中連携一貫教育の推進に関して】

区がすすめる小・中連携教育の一環として、2つの取り組みをします。

①小・中連絡グループ連絡会 20日（水）
6校時に、5年生・6年生の授業を開進第四中学校・開進第四小学校の先生方が参観。その後協議会を行い学習指導の連携について検討します。

小学校・中学校の学習面の連携を考えることから、国語・社会・算数・理科・体育・道徳と、6教科で行います。

②出前授業 26日（火）

6年生を対象に、国語・社会・算数・理科・英語の主要5教科の授業を開進第四中学校の先生方が来校して教えてくださいます。

6年生は、自分の興味・関心に従い、好きな教科の授業を体験します。中学校の学習がさらに楽しみになることを願っています。